

# CS・SDGsパートナーズ通信



## 株式会社インボックス様の取組を紹介します

インボックスグループ（株式会社インボックスほか）様では、様々な工事で発生する建設残土や災害で発生した土砂を高強度化、地盤安定化、再泥化防止ができる新たな土木資源に変える技術を開発。この「砂防ソイルセメント工法」は、全国で600ヶ所以上で導入されてきました。現地発生土砂の活用により、低炭素社会へ貢献する同社の取組を紹介します。



本社（岩槻区加倉23-1）

### 現地土砂をソイルセメントとして資源化



「砂防ソイルセメント工法」の最大のメリットは、コンクリートが不足する災害復旧現場や、コンクリートを調達することが困難な地域において、現地にある土砂を使い構造物を造ることができる点です。また、これまで廃棄していた土砂を利活用することも可能です。更に、生コン車等の運行台数を大幅に削減することにより、二酸化炭素の排出量や騒音・振動・粉じんを減らし、環境負荷を低減させることができます。

泥に戻らず年々強度を増す同工法は、土砂災害から人々を守る技術として、全国の砂防えん堤建設に採用されてきました。2022年1月には「彩の国SDGs技術賞」の大賞を受賞し、同年10月には「九都県市のきらりと光る産業技術」として表彰されています。



### 技術練度に関係なくジェンダーレスに活躍できる環境を構築



男性が多い業界ですが、従業員の7割が女性です。これは、作業の機械化・IT化を進めることで、働く人々が技術練度に関係なくジェンダーレスに対応できる環境の構築を進めているためです。

なお、12月に移転した新社屋をソイルセメント技術のHubとして、これまで培った技術やノウハウがさまざまな分野で活用できるよう、新たな体制を構築していくそうです。同社の技術が防災だけでなく、私たちの身の周りで活用される日も遠くないかもしれません。



### 担当者の方からひとこと

現地土砂だけでなく廃棄される予定の土砂や災害発生土砂等、あらゆる土砂を防災施設のような新しいものに生まれ変わらせていきたいと思っています。そのため、新社屋を拠点としてAI技術の活用や新たな工法開発を推進し、これまで以上に人々の暮らしに安全・安心を提供し続けることに貢献していきます。